

防災・減災部門

応募事例名

公助

土のうでつながぐ！ 自助・共助

応募団体名)松山市公営企業局

応募事例の概要

浸水対策のためのハード整備は、長い期間と多額の費用を要します。そこで、効果的なソフト対策として、日ごろからの「情報収集」や「事前の備え」を幅広く市民の皆さんに願うとともに、**公助の後押しによる、自助・共助での活動支援につなげるため、土のうステーションを設置しました。**

土のうステーションの設置

- 効果的なソフト対策の一つとして、土のうステーションを**市内15カ所**に設置
- 公営企業局、市長部局、消防局のそれぞれの施設に設置することで**市内の広範囲を網羅**
- 松山市民であれば**24時間、365日持ち出し可能**(運搬する車両が駐車可能な場所を選定)
- 松山市全体で**約3,700袋を常時配備**(その他水防センターなどにも水防用資機材として配備有)

土のうの積み方

HPIに掲載

大雨に備え、 土のうを配布しています

公式SNS等で周知

◎ 土のうステーションで、24時間いつでも持ち出せます
◎ 1袋20キロ程度です ◎土のうは随時補充しています

<土のうステーション>

*ブルーシートがかかった状態

配布場所など詳しくはこちらから

CHECK

HPIは「松山防災アプリ」と連携

iOS Android

PRポイントと取組の効果！

- ・土のうステーションの設置を様々な広報媒体で周知
 - ・「情報収集」により「事前の備え」として、市民の皆さんが土のうを活用
 - ・自主防災組織への周知とともに地域の防災訓練で土のうを活用
 - ⇒**公助の後押しで自助・共助が土のうでつながった！**
 - ・土のうをキーワードに公営企業局、市長部局、消防局の連携強化
 - ・「情報収集」と「事前の備え」により、大雨時の土のうに関する業務が軽減、他業務の人員を増強
 - ・松山市のHPに位置図や積み方を掲載(HPIは「松山防災アプリ」と連携・DX技術の活用)
 - ⇒**松山市の防災力の向上！**
- ⇒効果的なソフト対策 **【公助】**

⇒防災意識の向上 **【自助】**

⇒地域の連携強化 **【共助】**



(公企)下水道整備課
主幹 河上 康志・副主幹 梁田将光

24時間、365日持ち出し可能であることに加え、広報紙、HP、公式SNS、自主防災組織への周知や報道にも広く取り上げていただいたことで反響が大きく、土のうの補充が間に合わないくらい瞬く間に活用されていきました。市民の皆さんのニーズに応え、防災意識の向上や地域の連携強化からソフト対策としての効果を確認することができたと思います。

次のステップとして、市民の皆さんが持ち帰った土のうを、大切に長く使用してもらうことや作成にかかる経費を削減するため、土のう袋の配布も検討しています。